

ORION

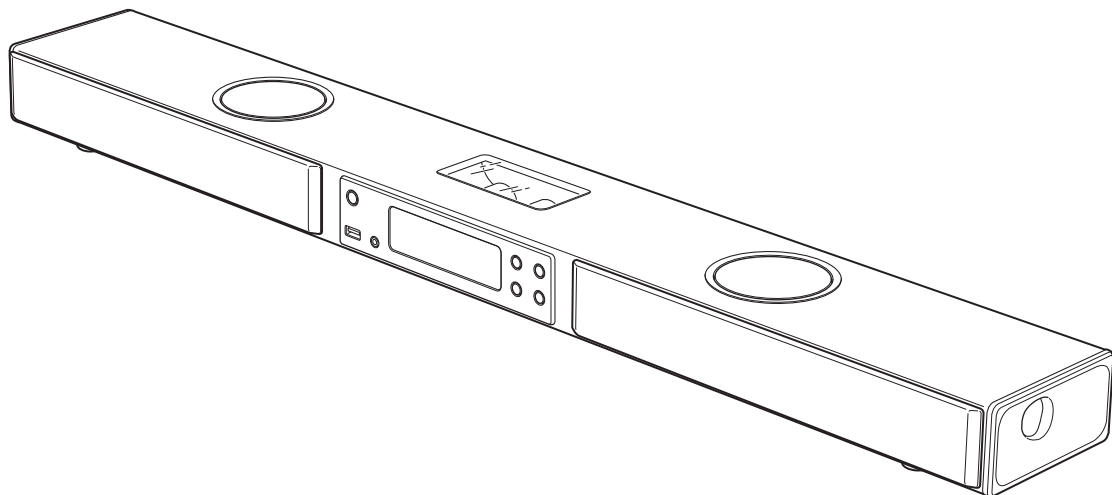
Bluetooth[®]機能搭載サウンドバー SBS-900BT

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 13
通常の操作	P. 13
Bluetooth [®] 機器を聴く	P. 14
USB メモリーの MP3 / WMA を聴く	P. 16
外部入力を聴く	P. 17
便利な使いかた	P. 18
スリープタイマーを使う	P. 18
本機を壁にかけて使う	P. 19
お手入れのしかた	P. 20
修理・サービスを依頼する前に	P. 21
主な仕様	P. 23
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙





安全上のご注意




- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)





警告

 禁止	交流 100V 以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	AC アダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、AC アダプター、電源コードに触れない。 感電の危険があります。		AC アダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま AC アダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードや AC アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因となります。		電池を子供にさわらせない。子供の手の届かない場所に保管する。 付属のリモコンにボタン形電池を使用しています。 ボタン形電池を飲み込んでしまうと、約 2 時間で消化器内部を侵食するなど重大な体内損傷を引きおこし、死に至る恐れがあります。 新品および使用済みのボタン形電池を子供に近づけないでください。
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。		電池ケースがしっかりしまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保管する。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		万一ボタン形電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。 飲み込んだ可能性がある場合にも、すぐに医師の診断を受けてください。

警告

 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドゥシヤカスタマーセンター（裏表紙参照）にご相談ください。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。ショート・感電の原因になります。
	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。		

注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかる場所 ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	 指示	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		真空管に触れない。 動作中は真空管および真空管カバーが高温になり、やけどの危険があります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。		通風孔をふさがない。 通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		電池の極性に注意する 電池を取り付けるとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		本機を設置するときは、放熱を妨げない程度の間隔をあける。 内部に熱がこもり、火災の原因になります。

ご使用になる前に

USBメモリー・MP3/WMA再生について

USBメモリー	<ul style="list-style-type: none">・ファイルシステム FAT32・USB2.0対応・～32GBまで対応 <p>本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。</p> <p>※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。・本機はUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。・DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。・USBメモリーの状態によっては正常に動作しないことがあります。
MP3	<ul style="list-style-type: none">・正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。・MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行いません。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
WMA	<ul style="list-style-type: none">・正式名称をWindows Media Audioという音声圧縮の規格。・WMAデータの認識はファイル拡張子「.wma」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.wma」を付けてください。拡張子「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wma」を付けていてもWMAデータ形式でないファイルは再生できません。・著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
MP3/WMA再生可能ファイル共通事項	<ul style="list-style-type: none">・ビットレート 96 ~ 320kbps (推奨)・サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHz・999以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。 <p>本機は、ビットレート32kbps～320kbpsのMP3/WMAファイルを再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none">・可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。・MP3/WMAデータの状態によっては、本機では再生できなかったり、特殊再生が正しく動作しなかったり、音が途切れることがあります。
MP3/WMAファイルの再生順番について	<ul style="list-style-type: none">・複数のフォルダーにMP3/WMAファイルを書き込むと、フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。・書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

Bluetooth について

Bluetooth (ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、Wi-fiの使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク」が本機の後面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様	
適合規格	Bluetooth Ver.5.0
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP, AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

ボタン電池について

- ボタン電池を扱うときは
- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
 - ・極性表示を間違えないで挿入する。
 - ・水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
 - ・液漏れがおきたら使用しない。
ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。
万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
 - ・長時間使用しないときは、ボタン電池をはずしておく。
 - ・使用後は、必ず各自自治体の指示に従って処分する。

使用環境について

- 結露について
- ・寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起こります。
この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて1時間程度放置してください。内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

真空管について

- ・本機は真空管を使用しているため、電源投入後すぐに使用開始できません。
真空管を使用しているため、使いかたによっては(長時間使用継続や大音量使用など)真空管を傷めてしまい、機器としての寿命を縮めることとなります。
- ・煩雑な電源の入切、ACアダプターの抜き差しをしない。
- ・改造などで真空管を交換しないでください。
改造をすると、保証サービスを受けられないだけでなく、とても危険であるため、絶対しないでください。

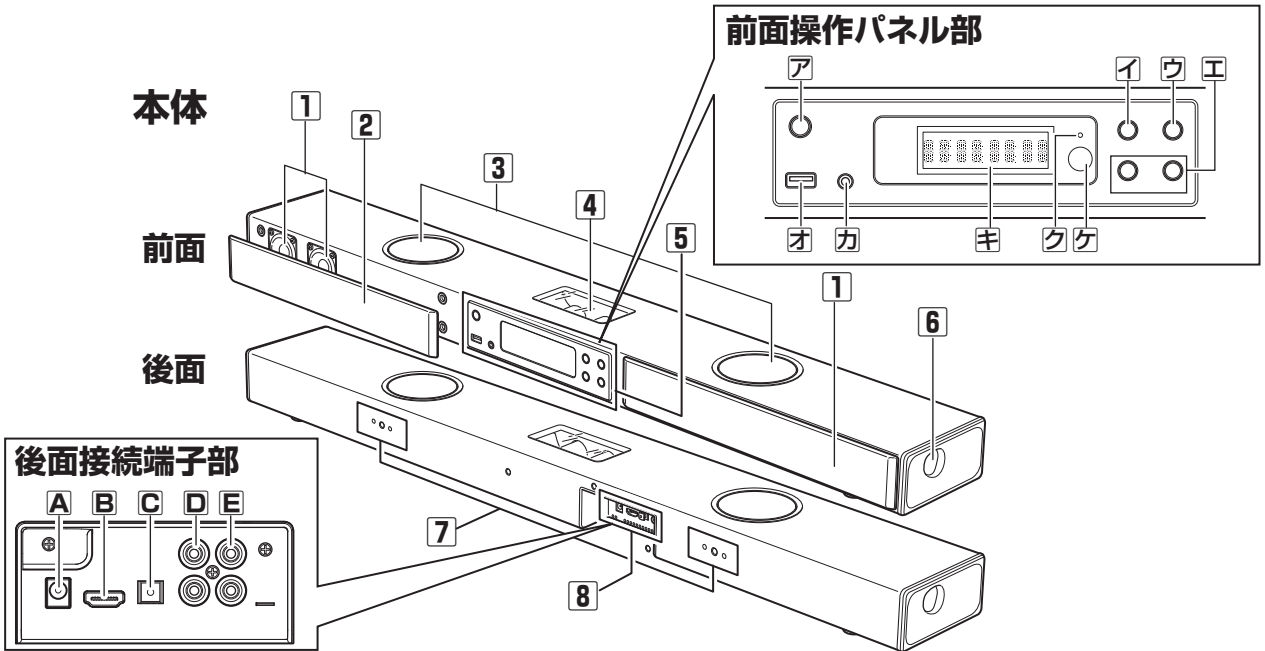
免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるUSBメモリーなどへの記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

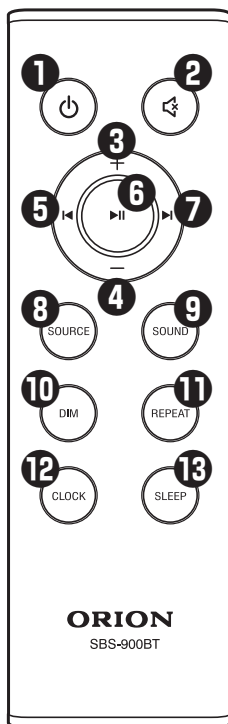
壁にかけて使用したときの、取り付け不備による製品の落下により、製品の破損および他器具の破損、その他の不都合、被害、損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき



名称	機能
本体	
1 フロントスピーカー	中高音を再生します。
2 サランネット	フロントスピーカーをまもり、取りはずすことができます。
3 ウーファースピーカー	低音を再生します。
4 真空管	アンプのプリ部に使用しています。
5 前面操作パネル	本機を操作するボタンや情報を表示するディスプレイ部があります。
6 バスレフポート	低音を増強します。
7 壁掛用金具取付穴	壁掛けするとき、付属の壁掛用金具を取り付けます。
8 後面接続端子部	外部機器を接続します。
前面操作パネル部	
ア 電源ボタン	⏻STANDBY 本体電源の入/切をします。
イ 入力切替ボタン	SOURCE 入力モードを切り替えます。
ウ 音質ボタン	SOUND 音質を切り替えます。
エ 音量ボタン + -	-VOL + 音量を調節します。
オ USB端子	USB USBメモリーを取り付けます。外部機器への充電ができます。(出力 DC5V/1A)
カ ヘッドホン端子	🎧 3.5mm3極ステレオプラグのヘッドホンを接続できます。
キ ディスプレイ部	入力モードなど各種情報が表示されます
ク 電源ランプ	エコパワー・スタンバイ状態のときに点灯します。
ケ リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
後面接続端子部	
A 電源入力端子	付属のACアダプターを接続します。
B HDMI(ARC)出力端子	HDMIケーブルを接続します。リニアPCMデジタル音声専用。
C 光デジタル入力端子	光デジタルケーブルを接続します。リニアPCMデジタル音声専用。
D AUX2入力端子	外部機器のアナログ音声出力を接続します。
E AUX1入力端子	外部機器のアナログ音声出力を接続します。

リモコン



名称	機能
リモコン	
① 電源ボタン	電源を入/切 (スタンバイ) します。
② 消音ボタン	音量を一時的に0 (無音状態) にします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
③ 音量ボタン	音量を調節します。
⑤ スキップ+/-ボタン	ファイルを1曲先に進めます/1曲前に戻ります。時刻の設定にも使用します。
⑥ 再生/一時停止ボタン	ファイルを再生または一時停止します。
⑧ 入力切替ボタン	入力モードを切り替えます。
⑨ 音質ボタン	音質を切り替えます。
⑩ DIMボタン	ディスプレイ部の明るさを3段階で変更します。
⑪ リピートボタン	USBメモリーのMP3/WMA再生時にリピート再生します。
⑫ クロックボタン	現在時刻の設定や表示に使用します。
⑬ スリープボタン	スリープタイマー (分) を設定します。 OFF・15・30・60・90・120 (分) の設定ができます。

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	AC アダプター.....	1 個
リモコン.....	1 個	壁掛用金具.....	2 個
ボタン形リチウム電池 (CR2025) (出荷時、リモコンに装着済).....	1 個	壁掛用木ネジ.....	2 本
光デジタルケーブル.....	1 本	金具取付用ネジ.....	8 本
		取扱説明書 (保証書含む).....	1 冊

リモコンの準備

リモコンには電池が装着済ですので、絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

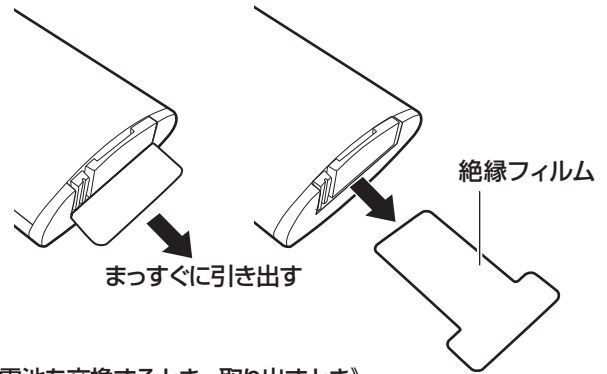
※ 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

リモコンの電池交換のしかた

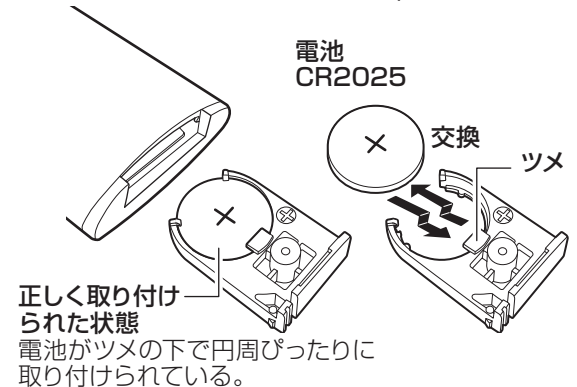
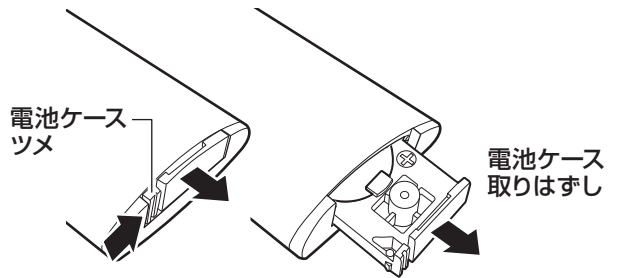
ボタンを押しても動作しなかったり、動作が不安定なときには、新しい電池 (CR2025) を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. 電池ケースツメを内側によせて、電池ケースを引き出す
2. 古い電池を取り出し、電池の向き (⊕ ⊖) に注意して新しい電池を電池ケースに入れる
 - 電池の⊕側を上にして、右図のようにツメの下にはめ込んでください。
3. 電池ケースをリモコンに差し込む
 - 電池ケースツメが元に戻り、電池ケースがロックされていることを確認してください。

《使用開始するとき》



《電池を交換するとき・取り出すとき》



正しく取り付けられた状態
電池がツメの下で円周ぴったりに取り付けられている。



注意

- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕ ⊖ を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- 電池を子供が飲み込んだりしないように、子供の手の届かない場所に保管する。

リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、リモコン受光部の正面から約 6 メートル、左右 30 度、上下 20 度の範囲でお使いください。

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- リモコンと本機の間には障害物があるとき
- 直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- 赤外線を出す機器の近くで使用したとき

電源の接続

本体の電源の接続には付属の AC アダプターを使用します。

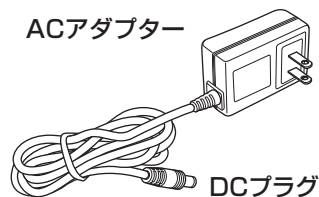
1. 本体後面の電源入力端子に付属の AC アダプターの DC プラグを取り付ける
2. AC アダプターをコンセントに差し込む

通電すると、本体のディスプレイ部に「--:--」が点滅表示されます。

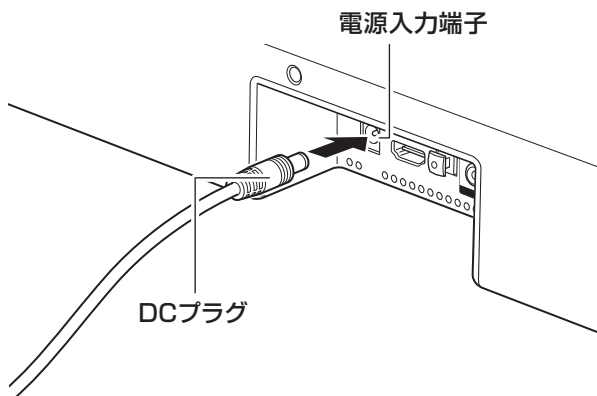
⚠注意

- 長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く。
火災、事故などの原因になります。
- ぬれた手で AC アダプターを扱わない。
感電、火災、故障の原因になります。
- AC アダプターをコンセントから抜くと、時計表示がリセットされます。
- 必ず本体後面の DC プラグを接続した後に AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。
逆の手順にした場合、後面電源端子でスパークが発生することがあります。

ACアダプター



DCプラグ



電源入力端子

DCプラグ

使用前の準備 (つづき)

HDMI(ARC)接続のしかた

HDMI(ARC)接続をすると、テレビのリモコンで本機の電源の入/切と音量変更ができます。

接続前の準備

- テレビと本機をつなぐ、市販のHDMIケーブル (Ver.2.0以上) を準備してください。

テレビのデジタル音声出力は、必ずリニア PCM 出力に設定してください (本機に入力できるのは 32kHz、44.1kHz、48kHz リニア PCM となります)。

- テレビの接続方法・設定方法については、テレビの取扱説明書もお読みください。

接続のしかた [HDMI(ARC)接続]

1. テレビのHDMI(ARC)入力端子にHDMIケーブルを接続する

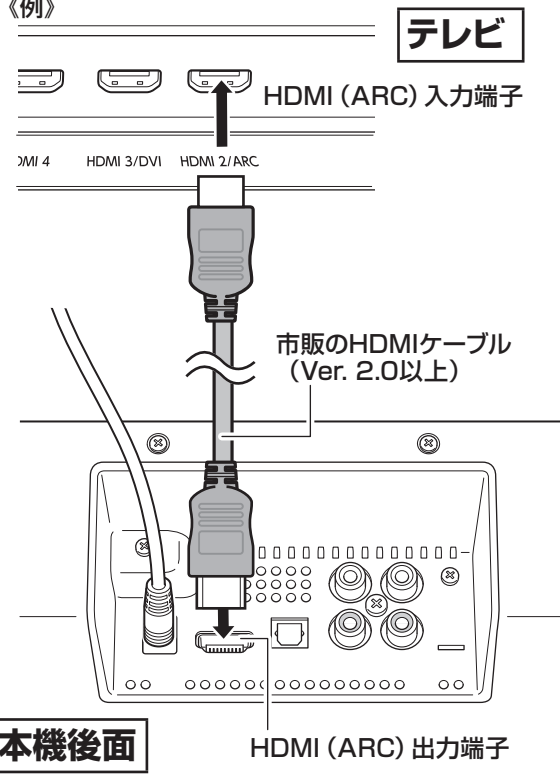
必ずARCと表記されているHDMI端子に接続してください。

2. 本機後面のHDMI(ARC)出力端子に接続する

- 接続がすべて終わったあと、付属のリモコンで電源の入/切、入力モードの変更 (HDMI(ARC))、音量の変更ができることを試してください。
- さらにテレビのリモコンで電源の入/切、音量の変更ができることを試してください。

※ ARCとは、Audio Return Channelの略でテレビのHDMI入力端子からオーディオ機器のHDMI出力端子へ音声信号を戻すことができます。さらにHDMIの機能で接続機器を操作することができます。

《例》



⚠注意

本機のHDMI(ARC)機能はHDMI規格に準拠しています。

- 市販されているテレビの中にはHDMI(ARC)機能を独自にカスタマイズされている製品もあり、正しく動作しない場合があります。本機の故障ではありません。
- HDMI(ARC)対応の機器と接続するときは、テレビ側のHDMI(ARC)機能を有効にしてください。詳しくはお手持ちの機器の取扱説明書をご確認ください。
- HDMI(ARC)接続した機器の音声出力を内蔵スピーカー以外に設定してください。詳しくはお手持ちの機器の取扱説明書をご確認ください。

光デジタル接続のしかた

接続前の準備

- 付属の光デジタルケーブルを使用します。

テレビのデジタル音声出力は、必ずリニア PCM 出力に設定してください(本機に入力できるのは 32kHz、44.1kHz、48kHz リニア PCM となります)。

- テレビの接続方法・設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

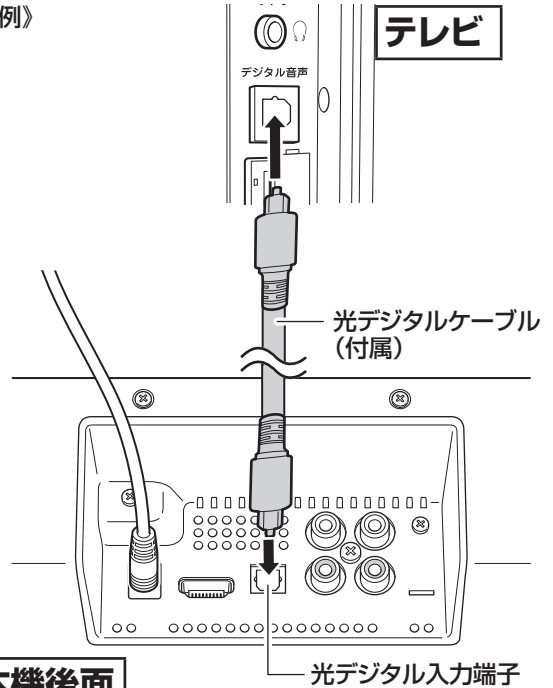
接続のしかた【光デジタル接続】

1. テレビの光デジタル出力端子に光デジタルケーブルを接続する

プラグの形状・向きを合わせて接続してください。

2. 本機後面の光デジタル入力端子に接続する

《例》



本機後面



注意

本機の光デジタル入力端子に、リニア PCM 信号以外は入力しない。
リニア PCM 信号以外のドルビーデジタル、DTS、AAC などを入力すると雑音が発生し、スピーカーの破損などの原因になります。

アナログ接続のしかた

テレビ側に HDMI (ARC) 入力端子や光デジタル出力端子がない場合は、テレビの音声出力端子またはヘッドホン端子 (アナログ音声出力) から本機の AUX 1 もしくは AUX 2 に接続してください。

接続前の準備

テレビと本機をつなぐ、市販のアナログ音声用のケーブルを準備してください。本機側は RCA ピン型です。

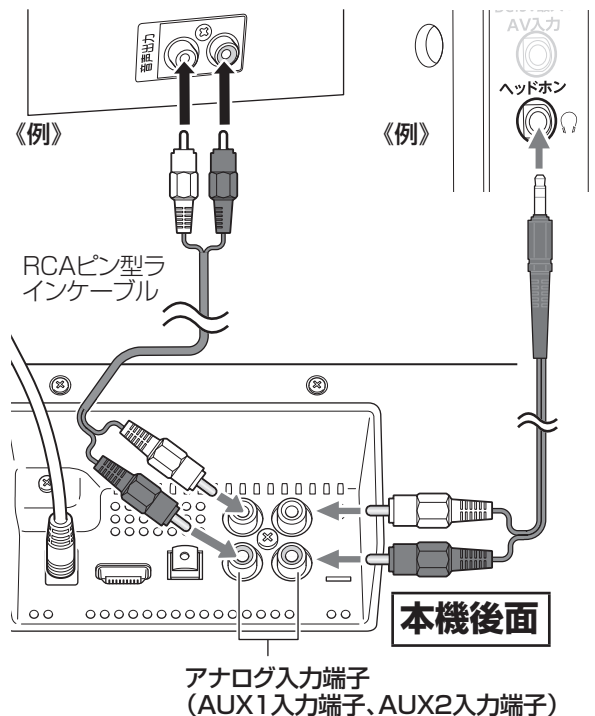
- テレビに同じような RCA ピン型の出力端子があれば、双方 RCA ピン型のラインケーブルを準備してください。
- テレビにミニステレオ端子のヘッドホン端子やライン端子がある場合は、RCA-ミニステレオプラグ変換ケーブルを準備してください。
- テレビのヘッドホン端子で使用するときは、テレビ側のヘッドホン出力設定や音量の調節をしてください。
- テレビの接続方法・設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

接続のしかた【アナログ接続】

1. テレビの音声出力端子にアナログ音声用のケーブルを接続する

2. 本機後面のアナログ入力端子に接続する

《例》



注意

テレビの音量は適切な音量に調節する。
大きな出力のまま本機に入力すると、音割れやスピーカーの破損につながりますので、十分に注意してください。

使用前の準備（つづき）

時計を合わせる

ACアダプターをコンセントに接続すると、ディスプレイ部に「--:--」が点滅表示されます。リモコンを使用して、以下の手順で時計を合わせてください。

1. スタンバイ状態でリモコンの CLOCK クロックボタンを長押しする

ディスプレイ部に「CLOCK SET」と表示されます。

2. リモコンの SKIP+/- ボタンで12時間 (AM/PM) 表示または24時間表示を選び、 CLOCK クロックボタンを押す

12時間(AM/PM)表示 「CLK 12H」

24時間表示 「CLK 24H」

3. リモコンの SKIP+/- ボタンで「時・分」を設定して CLOCK クロックボタンを押す

- ・リモコンの VOL 音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
- ・「時」を設定後、 CLOCK クロックボタンを押すと「分」を設定することができます。
- ・「分」を設定後、 CLOCK クロックボタンを押すと設定時刻が確定し時計機能が開始します。

※ 90 秒以上無操作状態がつづくとき時刻の設定がキャンセルされます。



注意 ACアダプターをコンセントから抜くと、時間がリセットされます。再度設定が必要になります。

ふたつのスタンバイ状態

本機にはふたつのスタンバイ状態があります。

1. スタンバイ状態で本体またはリモコンの POWER 電源ボタンを長押しする

スタンバイ状態が切り替わります。

・通常のスタンバイ状態

スタンバイ状態では常に時計を表示します。

・エコパワー・スタンバイ状態

終了時に「ECO POWER」と表示されます。

エコパワー・スタンバイ状態では、本体の電源ランプが点灯し、現在時刻は表示されません。

時計を確認する

《エコパワー・スタンバイ状態のとき》

1. リモコンの CLOCK クロックボタンを押す

ディスプレイ部に現在時刻が表示されます。

ディスプレイ部の明るさを調節する

1. リモコンの DIM DIMボタンを押す

DIM DIM ボタンを押すたびにディスプレイ部の明るさが変化します。3段階で明るさを調節できます。

正しい使いかた

通常の操作

1. 本体またはリモコンのⓄ電源ボタンを押して電源を入れる

2. 本体またはリモコンのⓄ音量ボタンで音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

3. 消音するときにはリモコンのⓄ消音ボタンを押す

リモコンのⓄ消音ボタンを押すと音量 0 になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ・消音中はディスプレイ部に「MUTING」が点滅表示されます。
- ・消音中に本体またはリモコンのⓄ音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

4. 本体またはリモコンのⓄ入力切替ボタンでモードを切り替える

- ・Ⓞ入力切替ボタンを押すと、

HDMI ARC → USB → AUX1 → AUX2 → BT → OPTICAL → HDMI ARC ...

とモードが切り替わります。

- ・接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります (USBモードなど)。

5. 本体またはリモコンのⓄ音質ボタンを押して好みの音質にする

本機には、お好みの音質でお楽しみいただける、5 パターンの音質 (イコライザー機能) と S-BASS、ラウドネスモードが設定できます。本体またはリモコンのⓄ音質ボタンを押すたび、

FLAT → NEWS → MOVIE → GAME → MUSIC → S-BASS → LOUDNESS → FLAT ...

と音質が切り替わります。

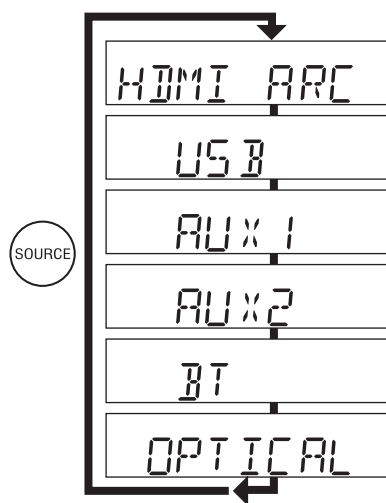
- ・音質を変化させているときはディスプレイ部に「DSC」が点灯します。

《例》



HDMI(ARC) 接続をすると、テレビのリモコンでテレビの電源を入れると自動で本機の電源が入り、HDMI(ARC) に切り替わり、テレビの音量調節で本機の音量調節ができます。テレビの電源を切ると、自動で本機の電源も切れます。

HDMI(ARC) 以外で接続した場合、Ⓞ入力切替ボタンで接続した端子を選択する必要があります。



音質モード名	モードの特徴
FLAT	音質を変更しない原音再生モードです
NEWS	報道番組やドラマなど人の声が聴きやすいモードです
MOVIE	映画鑑賞に適したモードです
GAME	ゲームに適したモードです
MUSIC	音楽番組に適したモードです
S-BASS	低音域のみを増幅したモードです
LOUDNESS	小音量時に低音域・高音域を増幅したモードです

正しい使いかた（つづき）

6. ⑤音量ボタンで音量を0(無音状態)にして、本体またはリモコンの⑤電源ボタンを押して、スタンバイ状態にする

- スタンバイ状態ではBluetoothの接続は切断されます。

7. 長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜く

ACアダプターをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

- USBメモリーなど装着したままにしないでください。
- 長時間使用しないときは、リモコンの電池も抜いておいてください。



警告

使用後は必ず電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

ヘッドホンを使う

1. 本体またはリモコンの⑤音量ボタンで音量を最小にする

2. 本体前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する

- ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。

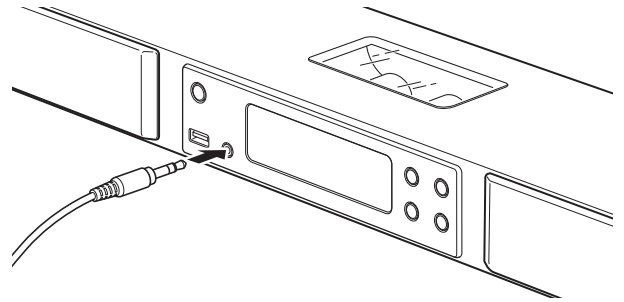
3. 本体またはリモコンの⑤音量ボタンで適切な音量に調節する



注意

ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。
聴力に悪影響をおよぼすことがあります。

- 本機のヘッドホン端子は3極ステレオミニプラグ(φ3.5mm)専用です。



Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
- 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。

本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth機器との初めての接続

1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth接続モードにしておきます。

2. 本体またはリモコンの④入力切替ボタンでBTモードに切り替える



ディスプレイ部に「BT」が点滅表示されます。

3. 接続するBluetooth機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「SBS-900BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイ部に「SBS-900BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

4. 接続が成功すると信号音が鳴り、ディスプレイ部に「BT」が点灯表示される
5. 接続がうまくいかないときは、本体またはリモコンの  入力切替ボタンで再度「BT」モードを選択するか、リモコンの  再生／一時停止ボタンを長押しする

もう一度最初から接続しなおしてください。

 注意	<p>本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。</p>
--	---

Bluetooth機器との2回目以降の接続

ペアリングをしたBluetooth機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続するBluetooth機器によっては、自動的に接続されないことがあります。本機の故障ではありません。

別のBluetooth機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に1台の端末しか接続できません。

1. 接続していた外部機器のBluetooth機能を解除する

- ・外部機器に表示されている、本機の製品名「SBS-900BT」の登録を解除します。

2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

3. 接続できないときは、リモコンの 再生／一時停止ボタンを長押しして、再度「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

Bluetooth機器の音楽を聴く

Bluetooth機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく
2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

未接続のときは「BT」が点滅表示されます。




※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める

本機のリモコン操作部でBluetooth機器のコントロールができます。

※ 接続したBluetooth機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

-  再生／一時停止
-  スキップー  スキップ+

このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCPプロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ AVRCPプロファイル対応機種でも、このコントロールに対応しない機器や、対応コントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

正しい使いかた (つづき)

USB メモリーの MP3 / WMA を聴く

本機では、USBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. 本体またはリモコンの入力切替ボタンでUSBモードに切り替える
ディスプレイ部に「USB」が表示されます。
3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

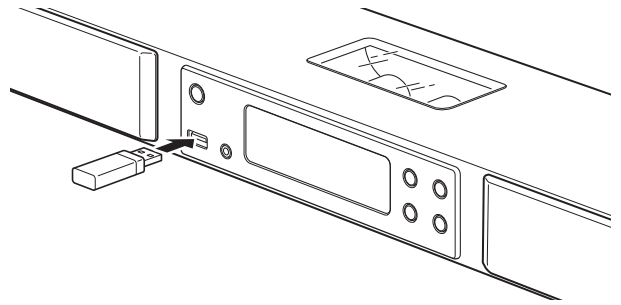
ディスプレイ部には曲番号と経過時間が表示されます。

※ 「USBメモリー・MP3/WMA再生について」(⇒4ページ)

リモコンの再生 / 一時停止ボタンを押すと、一時停止、もう一度押すと再生される

前の曲または次の曲を聴くときは、リモコンのスキップ+ / - ボタンを押す

フォルダーを変更するには、音量ボタン+ / - の長押しをする



リピート再生をする

特定の曲か全曲をリピート再生することができます。

1. 再生中に、リモコンのリピートボタンを押す

リピートボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります。

「REP ONE」1曲繰り返し再生:

ディスプレイ部上に「REP」が点滅します。



「REP FOL」フォルダー繰り返し再生:

ディスプレイ部上に「REP」が点灯します。



「REP ALL」全曲繰り返し再生:

ディスプレイ部上に「REP ALL」が点灯します。



「REP OFF」:繰り返し再生なし

ディスプレイ部上の「REP」が消灯します。



2. リピート再生をやめるときは、リモコンのリピートボタンを何度か押し「REP OFF」表示を出す

ディスプレイ部上の「REP」が消灯します。

⚠注意

- ファイルに適切な拡張子 (MP3 は [.mp3]、WMA は [.wma]) を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、(金属にさわるなどして)体の静電気をなくしておく。
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます

出力: DC 5V / 1A

充電をする場合は、充電される機器の電圧 / 電流に適しているか確認の上、ご使用ください。

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出すことができます。

AUX入力端子を使う



機器の接続・取りはずしのときは、必ず電源を切る。

1. AUX入力端子に外部機器を接続する

- 接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- 接続方法は「使用前の準備」(➡11ページ)


2. 本体またはリモコンの 入力切替ボタンで接続したモードに切り替える

3. 外部機器を再生状態にする

4. 本体またはリモコンの 音量ボタンで音量を調節する



テレビを HDMI (ARC) 出力端子に接続している場合、テレビの電源の入/切などに注意する。

外部入力して聴いているときに、テレビの電源を入れると、自動でテレビ側 (HDMI (ARC)) に切り替わってしまいます。その後、 入力切替ボタンを押して外部機器に切り替えても、テレビの電源を切ると、一緒に本機の電源が切れてしまうことがあります。



- AUX1入力端子またはAUX2入力端子にレコードプレーヤーを取り付けるときは、フォノイコライザー内蔵の機器を接続するか、フォノアンプを介して接続する。本機はフォノイコライザーアンプは搭載していません。
- 外部機器の音量を調節できる機種では、適切な音量に設定の上、使用する。他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。

スリープタイマーを使う

設定した時間後に電源を切る（スタンバイ状態）ことができます。

1. リモコンの^{SLEEP}スリープボタンを押してスリープタイマーを設定する

^{SLEEP}スリープボタンを押すたびに数値が

OFF → 15 → 30 → 60 → 90 → 120
→ OFF（単位は分）と切り替わります。

設定した時間後に電源が切れます。

- スリープタイマーを設定したあと、^{SLEEP}スリープボタンを押すと、ディスプレイ部に残り時間が表示されます。
- スリープタイマーが設定されると、ディスプレイ部上に「Z²」が点灯します。

2. 再度設定するとき、キャンセルするときは、リモコンの^{SLEEP}スリープボタンを押して数値を変更する

^{SLEEP}スリープボタンを押して、数値を設定しなおします。

- スリープタイマーをキャンセルするときには、「OFF」に設定します。
- 「OFF」に設定すると、ディスプレイ部上の「Z²」が消灯します。

本機を壁にかけて使う

本機の後面にある「壁掛用金具取付穴」に付属の「壁掛用金具」を取り付けることで壁掛けすることができます。



警告

壁掛工事は、専門工事業者に依頼する。
お客様自身での取り付け工事は、大変危険です。

1. 設置する場所を決めて、木ネジを取り付ける

安定した丈夫な梁、垂直な壁に設置してください。本体の幅が90cm、壁掛用金具のネジ穴の幅が50cmです。

壁に取り付ける木ネジはM4×30mm(長いネジ)です。

壁掛けした状態で、左右両方に約30cm(バスレフポートの音を楽しむのに必要)の空間があくように場所を決めてください。

テレビや電源(コンセント)からの距離も十分に考えてください。

※取り付け部分が弱い場合は、取り付け部分の補強工事をしてから取り付けてください。

2. 右図のように付属の壁掛用金具を取り付ける

付属のM4×10mmのネジ(短いネジ)を4本使用して、ひとつの壁掛用金具を取り付けます。

・左右2つの壁掛用金具を取り付けてください。

3. 壁に取り付けておいた木ネジに壁掛用金具部分を取り付ける

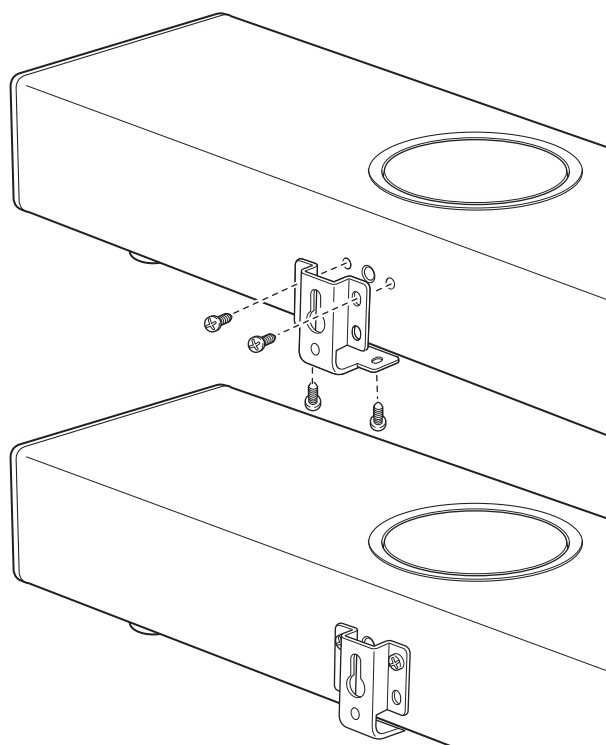
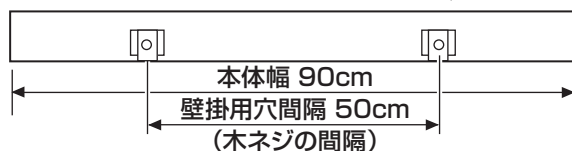
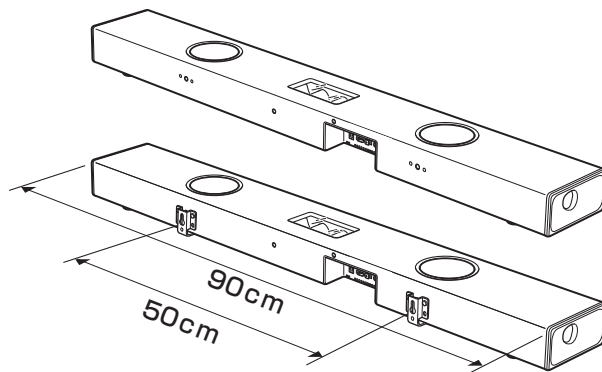
・取り付けてみて、グラグラするようなら壁に取り付けた木ネジを締め、取り付けにくいときは壁に取り付けた木ネジをゆるめて、調節してください。

取り付け不備による機器の破損、ほかの器物破損やけがなどについては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

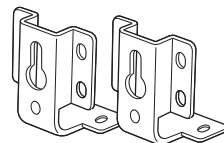


注意

- ・同梱の木ネジはベニヤ板(厚さ30mm以上)の壁専用です。上記以外の壁には取り付けないでください。厚さが足りない場合は補強工事を行なってください。
- ・賃貸などのお部屋での取り付けはご自身の責任の範囲にてお取り付けください。



壁掛用金具



お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、必ず AC アダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。



注意

- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

本体とスピーカーのお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。キズが付く原因となる場合があります）。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	• ACアダプターがコンセントからはずれている	ACアダプターをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	• 消音状態になっている	リモコンの④消音ボタンで消音を解除する
	• 入力切替が目的のモードに設定されていない	本体またはリモコンの⑤入力切替ボタンで目的のモードに切り替える
	• ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている	ヘッドホンを取りはずす
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	• ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない • 4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している(4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります)	ミニプラグを奥まできちんと差し込む 3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる
雑音が入る	• 近くで電波など発する機器(携帯電話など)を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が自動で切れる	• HDMI(ARC)接続をしている	HDMI(ARC)接続をすると、テレビのリモコンでテレビを操作すると、電源や入力切替、音量調節などが連動します(13ページ)
正常な動作をしない		一度ACアダプターを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	• 電池が消耗している	新しい電池に交換する
	• 操作する距離が遠い	リモコン使用可能範囲はリモコン受光部から約6mです
USB部		
USBメモリーを認識しない	• USBメモリーがFAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	FAT32でフォーマットしなおして書き込む
	• USBハブなど介して接続している	本体に直接接続する
	• HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
MP3/WMAを読み取らない	• USBメモリーが読み取れないフォーマットを使用している	FAT32でフォーマットしなおして書き込む
	• ファイルに拡張子「.mp3」「.wma」が付いていない	ファイルに拡張子「.mp3」「.wma」を付ける
曲が繰り返し再生される	• リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
外部入力部		
音が小さい	• フォノイコライザーの付いていないレコードプレーヤーをつなげている	フォノアンプを介して接続する
	• 接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量を上げる
Bluetooth部		
音が出ない	• Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	• 無線LANや電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	• 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	• SCMS-Tの送信	本機はSCMS-Tに対応していません

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	• Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する
ペアリングできない	• Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
	• Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	• 先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する

主な仕様

仕 様

USB 部

バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプ A)
ファイルシステム	FAT32
使用可能容量	32GB 以下
再生可能フォーマット	MP3、WMA (拡張子 .mp3、.MP3、.wma、.WMA) 最大読み込みファイル数 999 最大読み込みフォルダー数 99
給電機能	DC 5V / 1.0A

アンプ部

定格出力 (RMS・THD10%)	10W + 10W ウーファー 20W 総合 40W
-------------------	----------------------------

スピーカー部

タイプ	2WAY バスレフタイプ
ドライバー	フロントスピーカー 4.5cmフルレンジ ウーファー 7.5cm ドライバー (W-RPM 和紙素材二重抄紙スピーカー)
インピーダンス	8 Ω

Bluetooth 部

バージョン	Ver.5.0 Class2
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応

基本仕様

入出力端子	HDMI(ARC) 出力 (リニア PCM 専用) 1系統、OPTICAL 光デジタル入力 (リニア PCM 専用) 1系統、AUX 2系統 (RCA)、USB 端子 3.5mm ステレオヘッドホン端子
外形寸法	(約) W900 × D127 × H65mm
質量	(約) 3.9kg (本体のみ)
電源	AC アダプター AC100V 50/60Hz 出力 DC16V 2.5A
消費電力	40W (動作時) エコパワー・スタンバイ時 0.5 W

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用のスピーカーシステムはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや AC アダプターが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤカカスタマーセンターに点検をご相談ください。

株式会社ドウシシャ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ カスタマーセンター

【受付時間】9: 00～ 17: 00(土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799

※ 製品名、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。